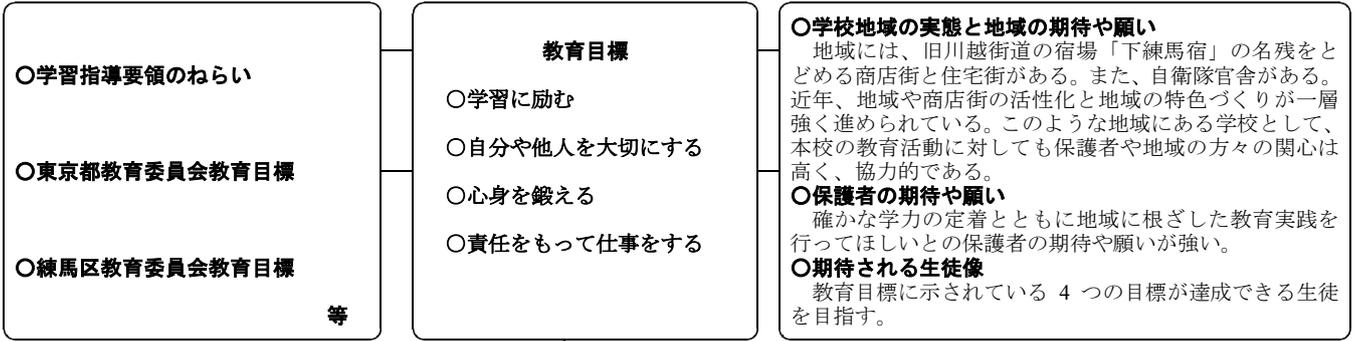
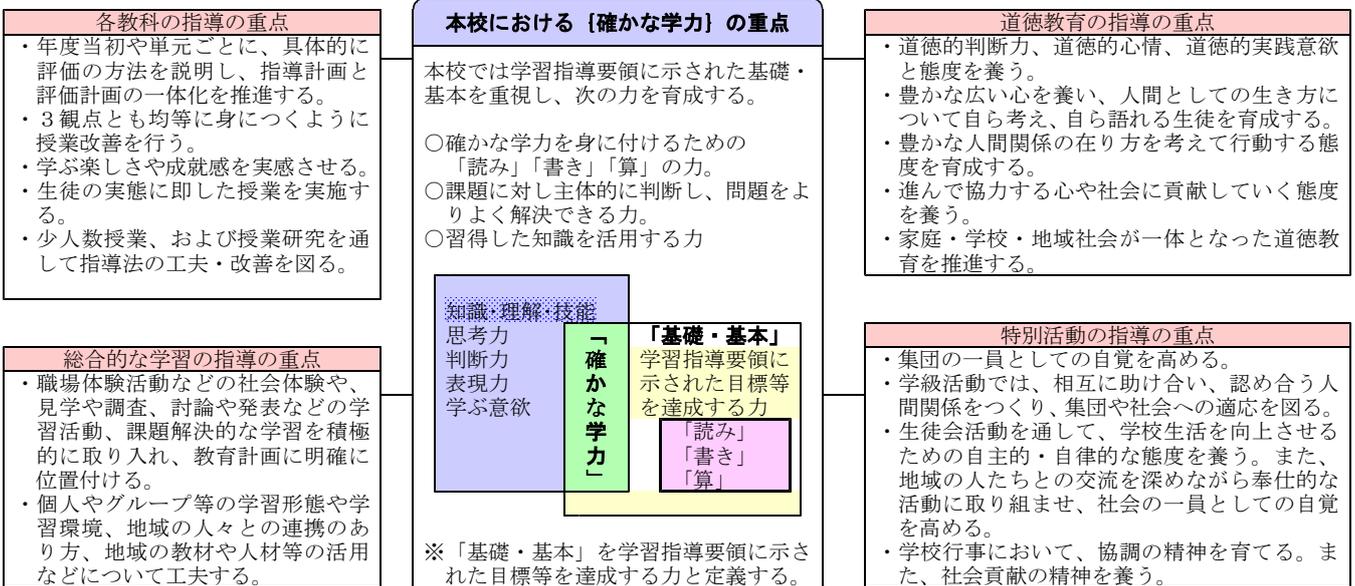


令和5年度 学力向上を図るための全体計画



学校経営計画（学力向上に関わる具体的な指針）

- ・生徒の主体的、対話的で深い学びを実現させる授業改善を行い、生徒と共に教師も考え、意見交換する中で、言語活動を充実させるとともに、思考力・判断力・表現力を伸ばす。また、ICT機器特にタブレット端末を効果的に活用して、授業改善を推進する。
- ・ICTを活用し、学力補充を充実させ、自ら学ぶ意欲を高める。定期的に家庭学習強化期間を設け、家庭学習の習慣を定着させる。
- ・「数学」、「英語」の少人数授業など、各教科が工夫して、個に応じた授業を計画、実践する。
- ・3観点の力が、均等に身につく授業を展開する。



生活指導の指導の重点

- ・心の教育を推進する。
- ・人と人との心が響き合う学校を目指す。
- ・生徒理解に努めるとともに、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、学校生活支援員と連携して相談・支援活動を充実し、悩みや不安を自分自身で解決できる生徒の育成を図る。

キャリア教育の指導の重点

- ・「キャリア・パスポート」を活用し、計画的な進路指導を行い、主体的に進路を選択できる能力と勤労観・職業観を身に付けさせる。
- ・地域社会および関係諸機関と連携した体験的学習を重視し、将来必要とされる能力向上のための学習意欲を高める。
- ・キャリア教育の充実のための体験学習を重視し、生徒一人一人の特性に合わせた社会性を育む学習を推進する。

本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携と工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びを実現させる授業改善 ○言語活動の充実 ○1時間ごとの学習の「めあて」を明確にした学習活動の展開 ○「数学」、「英語」の少人数授業など、各教科が工夫した、個に応じた授業の計画、実践 ○ICT機器の活用等の工夫と改善（数学科、英語科でのデジタル教科書の活用） ○授業規律を徹底した学習活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習強化月間を設け、家庭学習の習慣の定着 ○朝読書の充実と落ち着いた学習環境の確立 ○長期休業中や定期考査前、放課後等を利用した補充学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領に即した適正な評価・評定について校内研修と授業の実施 ○各教科におけるICT活用の効果的な活用について研修 ○配慮を要する生徒の情報を共有し、基本的な学習習慣の定着を図り、一人一人の個性や能力を伸ばす指導法の研修 	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力を身に付けさせるための、指導と評価の一体化 ○生徒による授業評価アンケートの実施 ○より信頼度の高い評価・評定にするための検証・点検作業の実施 ○生徒の自己評価、学力調査の結果などを生かし、生徒の学習状況の客観的な把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開、授業参観の実施 ○地域行事への参加 ○地域の伝統文化の学習 ○地域人材を活用した体験学習の実施 ○学校だよりやHPを活用した情報公開の工夫 ○学校評価アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す15歳の姿の具体化に向けた取組 ○小学校への出前授業、夏季休業中のリトルティーチャーの実施 ○校区别協議会での教科分科会の実施

授業改善策の検証方法

全国・都・区の学力調査、定期考査、生徒・保護者アンケート、学校関係者評価、生徒観察を基に、教科部会で改善策を検証する。